



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

vol. **4**

2011年10月号

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

月信に掲載しなかった補足情報をホームページに掲載しております。http://ri2710.com/ をご覧下さい。

ガバナーメッセージ GOVERNOR'S MESSAGE

職業奉仕と米山奨学会について



国際ロータリー第2710地区
2011～2012年度ガバナー

田村 泰三

職業奉仕はロータリーの奉仕活動の中で最も中核を占めるものといわれています。私たちは皆職業を持ちそれによって生活をしています。ロータリー・クラブは一業種一人の会員をもって構成されるという原則があります。職業奉仕においてロータリアンは自分の職業を通して社会に奉仕するという考え方を、私たちロータリアンが良く理解し実践することが求められています。

職業を通して奉仕するためには職業の経営が安定したものでなければなりません。四つのテストに述べられているように、言行はこれに照らして判断し行動することで、職業や事業の経営は安定したものになるはずで

この様な経営の安定のためには職業倫理、道徳水準を高めることを目標とされます。これが職業奉仕に関する声明であり、ロータリアンの職業宣言です。職業の品位を保ち、最高度の倫理基準を推進することに全力を尽くすことを求められています。しかし、その究極の目的は財政的に経営が安定することで、そのためには道徳的水準を高く持たなければならないという論理です。

この様に考えますと、職業奉仕の受益者はロータリアン個人ということになります。クラブ奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕などの奉仕活動によって、自らの職業奉仕の考え方を養成し、それをもって他の奉仕活動に生かすことがロータリーの目的と考えられます。

今月のロータリー特別月間としてもう一つロータリー米山記念奨学会があります。日本に最初のロータリー・クラブを作られた米山梅吉氏の功績を顕彰し、東京ロータリー・クラブの構想により発足しました。現在では、日本の学校、研究機関で学んでいる外国人留学生に、奨学金の支給、世話クラブとカウンセラー制度、ロータリアンと奨学生の交流、国内外での学友会活動が支援の対象となり、大きな成果をあげられてきています。

支援対象の学生に、中国国籍の学生が多数を占めていることから、中国に偏った支援ではないか。中国の政治的軋轢が絶えない状況にあるなかで、米山奨学会を見直してはどうかという議題が多くなっています。

50有余年にわたる米山奨学会の功績は誰も異存のない所です。中国の政治体制、政治的な判断には国際的に受け入れがたいものがあることも事実です。このような政治的な事柄はロータリー活動以外の国際的な解決を必要とするところです。そのような問題と米山奨学会の奨学生採用の問題を短絡的に結び付けることに私は賛成できません。中国の学生を特に優先して採用しているわけではありません。指定校制度をとって、奨学生を推薦してもらい、その中から面接をして採用を決定しています。

政治的に安定した状態でないからこそ、次代を担う若者の教育が特に必要です。私は昨年7月に上海で行われました米山中国学友会に出席しました。日本から260名のカウンセラーの方たちが出席され、米山中国学友も300名くらい集まりました。「感恩、交流、奉仕」をテーマに開かれ、中国学友の日本のロータリーに対する感謝の思いが伝わりました。立派な社会人に成長している彼らは、ロータリアンのいない中国において、ロータリー精神を受け継ぐ中国人として、今後の中国という大国を背負うであろうことが強く期待されます。

職業奉仕月間に因んで

職業奉仕カウンセラー
バスターガバナー
西村 栄時



ー職業奉仕は難しい!?ー

よくロータリーの職業奉仕は難しく、クラブの活動として取り組みにくいといわれます。『自らの職業の倫理観や道徳的水準を高め、それぞれの職業を通じ個人あるいは事業所で社会に貢献する』という極めて抽象的ことばで表現されますので、具体的な事業としてどう取り上げたいか悩まれる担当者も多いと思います。当然、クラブは職業を持ちませんので、少なくともクラブで行う奉仕ではありません。それでは、クラブはこのテーマにどう取り組めばいいのでしょうか。

クラブが行うべき主な役割は、会員に対し職業奉仕の精神をしっかり情報提供しその精神を共有すること。意識を喚起し実践を促すことと考えます。

ロータリーの職業奉仕の原点は『買う人の身になってものを売り、使う人の身になってものを作り、受ける人の身になってサービスする』と言われます。言い換えれば、相手の立場に立って考え、他人のために役立つ行動をする謙虚で思いやりある行為ということが出来ます。この行為の積み重ねが地域社会の人々から信頼を得て会員事業所の繁栄につながり、さらにはロータリアンの自信と誇りを高め、ますます職業奉仕に邁進するという好循環を生み出すと教わりました。第2680地区の深川純一バスターガバナーは、『職業奉仕は満足を売り感謝を得る 真実を売り信用を得る』、『勘定の世界に心を注ぎ込む』と印象深いことばで説明されています。常に公明正大な事業運営と高い倫理基準を保ち、優れた商品やサービスを提供し、信頼を最も大切にするロータリーの職業奉仕は、他のすべての団体・個人の奉仕とひと味異なっています。このことは、組織の質の高さを裏づけるものと自負し、誇るべき特異な奉仕の内容であると評価しています。

ーロータリアンが信頼社会への先導役をー

第2次世界大戦後、先輩たちは焼土と化した国土を再建するとともに長期にわたる経済の成長を勝ち得、国際社会で大きな成果を収めました。

しかし、経済の発展、科学技術の長足な進歩は、倫理精神面より金銭・物質面を重視し、物事の価値判断基準を【善か悪か】というよりむしろ【損か得か】の風土を生じさせました。その結果、産業界にとどまらず、政治・行政・医療・教育・はては法曹・宗教界に至るまで倫理観が薄れ、国民の信頼を損なう事件の発生は枚挙に暇ありません。特に尊敬を受けるべき高い地位の人や誇りある職業にある人たちの志が低く、潔くない醜態が目に余る憂慮する事態です。

英国の思想では、指導的立場にある人に伴う果たすべき責任や義務を『ノーブレス・オブリッジ』といいますが、地域社会のリーダー役を自負するロータリアンこそ『志は高く 頭を低く』して信頼社会への改善の先頭を担いたいものと思っています。

ー心豊かなロータリーライフをー

ロータリーの職業奉仕は無料でものを提供することや、価格を不当に値引きし安くすることではありません。自らの職業を存続させ、生活するため一定の利益を確保することは当然のことですが、法令を遵守し、適正な利益で顧客に満足を提供し、従業者の待遇を改善し、取引先との関係を良好に保ち、地域社会に貢献するものでなければなりません。近年この職業奉仕や職業倫理がロータリーで語られなくなると指摘されています。

厳しい経済環境の中、職業奉仕の理想を全うすることは困難を伴うかもしれませんが、逆にこのような時代であるからこそロータリーの職業奉仕の精神が輝くときと信じます。打算や見返りを求めない崇高な『超我的奉仕』の精神や『四つのテスト』を行動指針とし、ロータリアン自らが自分自身につねに問いかけ、互いに心豊かなロータリーライフを送ることに心がけましょう。

地区ホームページ10月度更新、掲載予定記事

- 「ロータリーの友」地区代表委員を受けて ロータリーの友地区代表委員
- 東日本大震災宮城地方を訪れて 副代表幹事
- 職業奉仕について 職業奉仕委員長
- 米山記念奨学会について報告 米山記念奨学会委員長
- 2011-2012GSE 派遣報告書 ロータリー財団委員会
- 米山記念奨学会 寄付金納入明細表
- ガバナーメッセージ ビデオ版vol4
- 「フランスのロータリアンが来日、支援金を託す」三原ロータリークラブ
- 米山ハイライト(PDF)
- 74クラブ会員増減表(PDF)
- ロータリー文庫 文庫通信

米山奨学会からの緊急メッセージ 米山記念奨学会カウンセラー パストガバナー 仁田 一也



去る7月20日付けで(財)ロータリー米山記念奨学会の板橋敏雄理事長から全国のロータリアン宛に緊急メッセージが届きました。

これは6月3日開催の理事会で異例の緊急決議をしたもので、重要な内容のものですから全文を以下にご紹介します。

理事会緊急決議と寄付増進のお願い

2011年7月20日

(財)ロータリー米山記念奨学会
理事長 板橋敏雄

新年度を迎えて、一言ご挨拶申し上げます。

昨年度(2010年度)の寄付は予算13億円を達成できました。震災復興に向けて日本のロータリー全体が尽力するなか、一人当たりの平均寄付額が2万円を超えた地区が5地区、また、一人当たり寄付額の全国平均は前年度より125円上回りました。皆さまのご努力に心より御礼申し上げます。

しかしながら、この予算(寄付収入13億円)は「奨学資金特別積立財産」を取り崩すことを前提に策定した赤字予算であり、年間800名の奨学支援に必要な経費(14億5千万円)を賄うことはできておりません。

去る6月3日、全国から32名の理事が出席して開催された理事会にて、今年度(2011年度)の事業計画と予算を審議しました。支援する奨学生数は昨年度と同じ800名とし、寄付収入予算も前年度実績を踏まえ、同額の13億円と決定しました。経費約14億5千万円との間で生じる約1億5千万円の不足は、昨年度同様、このような事態に備えて積み立ててある「奨学資金特別積立財産」を取り崩して充当することも併せて決議しましたが、取り崩しは今回で最後とすることといたしました。

これらの決議を行うに際して、今後、寄付を増進するのか、奨学生数を減らすのか、奨学生数を維持して、一人当たりの奨学金額を減らすのかなどについて、理事の皆さんによる活発な議論が行われました。

結論として、今年度の寄付金が14億5千万円を達成しなければ、この奉仕事業の根本を揺るがすものとなることを一刻も早く明確に示し、寄付増進をお願いしなければならないとの認識で一致し、下記の理事会緊急決議を行いました。

財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事会緊急決議

(2011年6月3日)

財団法人ロータリー米山記念奨学会理事会は、日本のロータリーが世界に誇る奨学事業であり、民間最大の奨学生支援を続けて参りました。しかし、寄付金の低迷により年間800名の奨学生を維持することが難しい状況となっており、緊急の寄付推進が必要となっております。

ガバナー各位におかれましては、一人当たりの普通寄付金と特別寄付金をそれぞれご提示頂くようお願い申し上げます。なお、奨学生800名を維持するためには14億5千万円の事業費が必要となりますので、一人当たりの平均寄付額は約1万6千円となります。

本日開催の理事会(理事35名中出席者32名)で、上記が決議されました。この決議の主旨をご理解頂き、皆様の変わらぬご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上

この決議は、6月13日付けで各地区2011-12年度ガバナーにご送付し、寄付増進へのご協力をお願いしておりますが、全国ロータリアン各位におかれまして、この決議の経緯および主旨をご理解頂き、(財)ロータリー米山記念奨学会への更なるご支援をお願いいたします。

東京ロータリークラブが最初の奨学生を受け入れてから57年、財団法人として認可されてから44年を迎える2011年度の初頭にあたり、皆さまのご支援を改めてお願い申し上げます。

以上



地区指導者育成セミナー 会員増強部門報告 地区会員組織 市川 英助
委員長



会員増強部門は三木 明コーディネーター補佐(姫路RC)、松本茂太郎カウンセラー(福山RC)をお迎えし、74クラブの会長、増強委員長が一堂に会し開催されました。

三木コーディネーター補佐より講話「ロータリーの魅力について」:

創始者ポーリハリスの互恵主義、職業奉仕、分かち合う心の大切さ、世の為人の為となる奉仕活動につながる歴史の話を頂き、今日その基本が失われてきた故に、魅力も損なわれている点をあげられました。各自がクラブに対して尽くしたものを以上を求めるのではなく、先ず自分がクラブに何が出来るかを考える事が大切であり、人間としてあるべき心を磨き、特に職業倫理を高める必要性、そしてロータリーの心、精神、見せかけでない謙虚な姿勢について等その真髓をお話し頂きました。

意見交換のテーマは「ロータリーの魅力を求めて」

- ・ロータリークラブは誰の、何の為のクラブなのか?
- ・これからのロータリークラブについて

時間の関係上、全クラブから意見を頂くことは難しく、宇部東、下関西、呉、小野田RCの皆様方をお願い

しました。遠くの理想ばかりを追うのではなく足元の現実を見つめ、何事も難しく思わないで可能と思う事。新入会員とのディスカッションや勉強会を大事にし、奉仕活動等が充実してくると例会出席率がよくなる。そしてロータリー楽しむ心を養い、自分自身の為にも誰かに喜んで頂く素晴らしいクラブにするべき勉強会が必要であるなど活発な意見を賜りました。開催曜日について土曜日ではなく日曜日の希望案がありましたので、次年度の課題としてお願いします。

次に、第2740地区(長崎、佐賀)の佐藤豊増強委員長、高木義和増強委員に“会員増強のためのネットワーク”についてお話を頂きました。これは地域地区を問わず、自分の友人、知人、親戚、仕事関係で親しい人々にロータリークラブの入会を勧めるものです。自分のクラブ会員増にはならないかもしれませんが、ロータリークラブとしては会員増に繋がります。詳しくは「ロータリーの友」8月号10ページに掲載されていますので参考にしてください。より詳しい情報については第2740地区ガバナー事務所に問い合わせをお願いします。

最後に松本茂太郎カウンセラーより講評を頂き閉会としました。

地区指導者教育セミナー ロータリー財団部門報告 地区ロータリー財団 福田 敏勝
委員長



8月27日(土)ホテルグランヴィア広島において、地区指導者セミナーが開催されました。

初めに、R財団のカウンセラーである川妻二郎PG様より、財団の今後についてお話を賜りました。現在地区の財団委員会では、従来通りの活動と、2013年度より始まる夢計画の準備をしています。今迄は、RIや財団でメニューが用意されていましたが、これからは、各クラブが主体性を持ちロータリアン全員参加のプロジェクトを作り、数値目標が立てられ、自立性や現実性のあるプログラムやクラブごとに夢のある事業を計画していかなければいけないと説明がありました。

次に、財団委員会より以下のお願いや報告をしました。

〈地区補助金〉事業終了後、速やかに報告書を提出してください。〈ポリオ2億ドルチャレンジ〉地区の目標は達成しましたが、今年度まで募っておりますので引き続きご協力をお願いします。〈ロータリーカード〉現在地区内では439名の方がカードを持っていますが、その内68名がゴールドカードです。ゴールドカードは年会費10,000円が必要で、その内3,000円がポリオに寄付されます。ポリオワクチン一人分は60円ですので、ゴールドカードを持

たれると、毎年50人分の子供たちにワクチンを与えることが出来ます。スタンダードのカードだと、20,000円の買い物をするると一人分のワクチンになります。50人分のワクチンを用意するには、毎年100万円の買い物をカードでしなければいけません。今年度の目標として、各クラブ5名以上増やしていただき、できればゴールドカードでお願いいたします。〈東日本震災復興支援〉今年12月まで寄付を受け付けています。この寄付は、PHFおよび大口寄付の対象となります。また、個人及び法人からの寄付は、税制上の優遇措置が認められています。尚、ロータリーカードの今年度分は、ポリオに寄付されず復興支援の方へ寄付されます。〈マッチンググラント〉今年度、マッチンググラントを申請される場合、DDF残額は8,000ドルです。この金額を超える場合、次年度に申請書の提出をお願いするようになります。申請が多くなると、各クラブの財団への協力が大切になります。

夢計画について伊賀訓之委員長より「未来の夢クイックガイド」を使って説明がありました。その後、事前にクラブから頂いていた質問に対して答えていきました。グローバル補助金を申請するに当たり、管理セミナーを受けなければならない、そのセミナーは来年5月に開催される地区協議会で行う予定です。

ガバナー補佐就任ご挨拶



グループ7
(広島城南RC)
久 笠 信 雄

ロータリーのいろは(363-JA-1102)等を見ますと、ガバナー補佐の役割として、指定を受けたクラブの管理運営の援助、次期クラブ会長の年度計画やガバナー公式訪問の手筈調整の援助、少なくとも年に4回担当クラブを訪問すること、クラブとガバナーの両方にとり重要な情報提供者として奉仕すること等が列挙されています。

どうやら、ガバナー補佐とは、ガバナーのご指示を受けながら、ガバナーと担当クラブの双方に奉仕をすることを求められており、今まで以上に「超我の奉仕」を求められる存在のようです。

ただ、幸いなことに、田村泰三ガバナー信条は、「ロータリーで楽しむところを学ぶ」であります。私も、ガバナー信条に従って、ガバ

ナー補佐の職務を楽しむことといたしました。

既に数クラブでガバナー公式訪問・フォーラムや先行するクラブ協議会を経験していますが、どのクラブでも例会進行や各奉仕部門の活動状況に感心するとともに、活発な意見交換を頂き、ガバナーと担当クラブの双方に奉仕をすることを存分に楽しんでおります。

RLIでも拙いディスカッションリーダーではありますが、毎回毎に参加者と新たな理解が深まることを感じて喜んでいます。

地区内ロータリアンの皆様には、今後ともいろいろな場面でお会いすることや、お願い申し上げることがあろうとは存じますが、皆さまとともに、「超我の奉仕」の追求を楽しんで参りたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



グループ8
(呉RC)
林 潤 彦

本年度グループ8のガバナー補佐の任務を授った呉ロータリークラブ所属の林潤彦です。ガバナー補佐のお話をいただいた当初は、一瞬とまどいを感じましたが、ロータリーの多くの皆様のご友情で、この一年を精いっぱい務めさせていただき覚悟が出来ました。微力ですがよろしく願いを致します。

ガバナー補佐の任務としては「指定されたクラブ(グループ8の各クラブ)の運営に対してガバナーを補佐する責務を担うと共に指定されたクラブに対して支援を行う責任がある」と言われています。その主なものとして、(1)「効果あるロータリークラブとなるための活動計画に助力する」、(2)「ガバナー公式訪問やクラブ協議会の調整」、(3)「クラブ

の進捗についてガバナーと話し合いクラブの発展に助力する」、(4)「DLP、CLPの推進」等々がありますが、主な行事の一つに「IM」の開催があります。これを「どのような内容で開催すれば皆さんにとって良いことになるか」について多くの皆様のご意見を伺いながら進めてゆかなければならないと思えますと共に、ホスト役を引受けていただく方々には大変なお手数をお掛けすると思えますがよろしく願い致します。

また10月にはGSEの引受けもありグループ8の皆さんには何かと気配をいただくこととなりますが、この一年間精いっぱいの務めをさせていただきますのでよろしくお願い致します。



グループ9
(三原RC)
上 田 隆 治

本年度グループ9のガバナー補佐を申しつかった三原クラブの上田です。ロータリー歴は比較的永い方になりましたが、15年前にクラブ会長を務めて以後は、毎例会をのんびり、時には居眠りを楽しむ、のんきなロータリアンでした。ガバナー補佐を命じられた時も、いつもの調子でのんきに構えておりましたが、いろいろな会議に出席するうち、大変な役だなど面喰っているのが現在の心境です。

ガバナー補佐の役割は、文字通りガバナーとクラブの橋渡しです。本年度田村ガバナーは『ロータリーで楽しむことを学ぼう』を信条とされておりますが、全く、時と処を得た言葉と理解しております。昨今どのクラブも会員の減少に苦慮しております。環境の変化が

第一の理由とは思いますが、ロータリーが面白くない。ロータリーには価値を見いだせなくなった。と思う会員が増えてきているのも事実でしょう。本来ロータリーは楽しくあるべきで、苦しむ為にあるわけではありません。彼の、ポール・ハリスが来日したおり、新聞記者に、どうしてクラブを創ったのかと聞かれ、少し考えて『淋しかったのでしょうか』と答えたことは有名な話です。淋しくなく、楽しくてたまらないクラブ造りを皆様と一緒に考えてまいりたいと考えております。

力不足のガバナー補佐ではありますが、会員の皆様のご協力を頂きながら、一生懸命頑張っ^てまいりたいと考えております。どうぞ1年間よろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐就任ご挨拶



グループ10
(府中RC)
角 紘 一

グループ10のガバナー補佐を務めます府中RCの角紘一(かどこういち)です。グループ10は福山、福山東、福山丸之内、鞆の浦、府中の5つのクラブで構成されています。私が所属する府中RCは46年の歴史がありますが、近年はご他聞にもれず会員の減少に苦慮しています。この度、そういうクラブの中でいろいろな経緯があってこの大役を引き受けることになりました。私はもともと不勉強で、決して優秀なロータリアンではありません。ところがガバナー補佐予定者になって昨年の9月以降、すでに数回の会議や研修がありましたが、参加するにつれて「これは大変な役目」と改めて感じました。とは言え、グループのため、クラブのためにもなんとか役目を全うしなければならぬと自分を叱咤激励していま

す。ガバナー補佐としての私の役目は田村ガバナーとグループ10内の5クラブとの連絡調整が主なものと心得ています。それに、各クラブ訪問とI.Mの開催があります。I.Mは例年どおりグループ10と11との合同開催で平成24年2月19日(日)に予定しています。両グループの協力の下で楽しく有意義なものにしたいと思っています。

クラブ訪問について、私自身は各クラブの雰囲気に触れるのが大変興味深いので内心楽しみにしております。他にも、ガバナー補佐という立場ゆえに味わえる様々な経験があるでしょうから、それを楽しみながら務めたいと思っています。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



グループ11
(福山北RC)
佐藤 忠彦

田村年度もスタートしましたが、それにともないグループ11のガバナー補佐の任務も開始となりました。これから一年いろいろと補佐として責務がありますが、今ひとつ善きガバナー補佐の仕事はということ考えると、不安と迷いが重なります。しかし、時間は止まることなく既に始まっています。自分自身で考え、研修にも励み頑張っていかなければなりません。任期中所属するクラブへ少なくとも四回以上の訪問をすることになっています。11グループのクラブの例会の席へ出席しますので、よろしく願います。気付きの事があれば、遠慮なく教示下さい。素直に聞くやわらかさを持っています。グループ全体としてする行事も年間いくつかありますので、多くの方より意見表

示をいただき、より内容のある行事にするよう頑張ります。予定されている今年度の行事としては、GSEの受入れ、IMの開催を10グループと共同で二月中に予定しています。会員の皆さんご期待下さい。

ガバナー補佐は田村ガバナーの示された方針思いを受けて、各クラブの取組や様子を見学させて頂き、ガバナーに報告するのが役目であろうと思いますが、各クラブにはクラブの自治があり、他のクラブと同じ運営でなく、それぞれに色があってよいと思います。咲く花も様々な花があるごとく、自由にクラブの運営をすすめて下さい。この結果がクラブのよりよいクラブへと向上進歩するものと思っております。今年度よろしく願います。



グループ12
(三次RC)
中川 筆之

三次クラブの創立50周年記念誌の回顧録にも述べましたが、偶然と必然が複数重なりその結果、会長職をプラス一年の二年続けて勤めさせて頂きました。二年目のスタート時、またもう一年やるのか?と気持ちが少しめいりしましたがやらずにはなからには楽しんでやろう、と気持ちを切り替え来年の6月30日は必ず来る、そして次年度の会長にバトンタッチできると腹を決めスタートしました。

7月の毎週の例会の挨拶文作成などで気忙しくしていたところ、現職のガバナー補佐、三次中央クラブの村竹さんから「次年度のG-12のガバナー補佐は三次クラブの番だから三次クラブで人選をして報告をするように」と連絡がありました。「クラブの手続き書」で補佐の人選の規約を確認したところ、まず一番に会長経験者であること、の制限事項があり誰でも良い訳にはいかないことが解りました。早期に報告せよ、と急がされていたので直ちに「歴代会長会議を開催する」旨の文書を出し会議を開催いたしました。しかしながら開催当日歴代会長の出席が非常に少なく、「なんでこんなに来ないのだろうか?」と疑問に思いました。がしかしその疑問がすぐに解けました。なぜならその年は三次クラブの前田茂会員がこの地区のガバナーに就任され、更に代表幹事や副代表などの要職に当クラブの歴代会長が多数就任されており三次クラブそのものの人員が手薄となっていました。このような厳しい状況の中の人選です。まず立候補をから始めましたが誰も挙手せず、互選になりました。もなかなか決まらず時間が過ぎる状況が続きました。司会進行を務める現職会長の私が「地区事務局への報告締切日も過ぎている。これ以上延ばすわけにはいかないで私、中川筆之の名前を報告しますが、異論はございませんか?」を会議に聞きましたところ全員が「頼む」との返事でした。

このような経緯で補佐を拝命いたしました私ですが、務める限りには精一

杯やろうと決め、昨年の9月4日最初の補佐会議に勇んで出席いたしました。ところが、私の思いと現実とはまったく違い今まで全然ロータリーのことについて勉強をしていないことが改めて白日の下に晒されました。更に田村ガバナーエレクトから今年度はRLIの強化浸透に勉める、旨の宣告がされ我々補佐がその任に当たる事が告げられました。それからの補佐会議とRLIの勉強会研修会の辛く厳しいこと。12名の補佐エレクトは打って一丸となり歯を食いしばって頑張り、鬼のような(違うかも知れませんが近いかも?)田村ガバナーエレクト及び田村次年度代表幹事並びに金子次年度研修リーダーの厳しい指導に耐えて7月1日のスタートを迎えることが出来ました。

RIの手続き規定や要覧により、ガバナー補佐の主な役割は出身のグループのクラブが効果的に運営されるよう支援することによって、ガバナーを補佐することです。細かな内容については14項目ありますが主な目的として

- 1.ガバナーのクラブ公式訪問のスケジュールを調整し、その前にクラブ協議会に出席して備える。
- 2.望ましくは一ヶ月に一度、最低でもロータリー年度の各四半期に一度は各クラブを訪問し各クラブの活動状況を確認する。
- 3.グループ内でIM(インターシティーイング)を実施開催する。
- 4.地区大会及びその他の地区会合に出席すると共に、これらへの出席を推進する。

等です。以上あれこれ申しませんが、補佐には権限はありません、あくまでもガバナーのメッセンジャーです。しかしながら活動するためにはロータリアン皆さん全員の協力が必要です。微力ですが地区の発展、グループ内の各クラブの活動に協力致しますのでどうかこの一年間よろしく御願いたします。

国際ロータリー第2710地区 2011-2012年度／74RCの会員増減・出席率 2011年8月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本年度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ1	長 門	4	85.63	87.34	29	32	4	4	1	3
	下 関	4	87.19	88.38	48	49	1	3	2	1
	下関中央	3	83.87	84.19	30	31	5	1	0	1
	下関東	3	73.56	75.97	45	46	0	1	0	1
	下関北	5	86.5	87.14	43	43	0	0	0	0
	下関西	4	93.92	94.94	37	36	1	0	1	-1
	油谷湾	5	100	100	14	14	0	1	1	0
計			87.24	88.28	246	251	11	10	5	5
グループ2	萩	3	92.61	93.75	56	55	0	2	3	-1
	萩 東	4	98	98.5	25	25	0	0	0	0
	美 祢	4	75.86	74.57	26	29	0	3	0	3
	小野田	5	83.83	83.67	47	47	0	0	0	0
	宇 部	4	81	84.25	52	53	2	1	0	1
	宇部東	4	65.2	68.91	22	23	4	1	0	1
	宇部西	4	89.48	90.9	51	53	1	2	0	2
計			83.71	84.94	279	285	7	9	3	6
グループ3	防 府	4	89.83	92.8	59	59	0	0	0	0
	防府北	4	85.71	86.27	20	21	1	1	0	1
	防府南	3	85.56	87.37	29	30	7	1	0	1
	山 口	5	96.52	95.64	53	56	3	3	0	3
	山口中央	4	88	86.5	9	9	2	0	0	0
	山口県央	4	96.62	96.93	33	37	1	4	0	4
	山口南	3	86.32	84.51	35	39	3	4	0	4
計			89.79	90	238	251	17	13	0	13
グループ4	光	4	94.39	93.45	49	49	0	0	0	0
	周南西	4	100	100	40	42	2	2	0	2
	徳 山	3	100	98.12	41	46	1	5	0	5
	徳山セントラル	4	91.38	90.52	28	29	1	1	0	1
	徳山東	4	97.55	98.52	49	52	0	3	0	3
計			96.66	96.12	207	218	4	11	0	11
グループ5	岩 国	3	84.82	85.39	61	61	0	1	1	0
	岩国中央	4	93.26	92.75	41	41	3	0	0	0
	岩国西	3	80.79	82.8	59	60	3	1	0	1
	柳 井	4	100	100	28	32	2	4	0	4
	柳井西	4	98.28	98.69	29	30	2	1	0	1
計			91.43	91.93	218	224	10	7	1	6
グループ6	広 島	4	99.36	99.03	117	119	1	4	2	2
	広島安芸	4	98.22	98.2	41	42	2	1	0	1
	広島安佐	3	93.94	93.22	20	23	1	3	0	3
	広島東	4	96.91	96.19	89	92	4	4	1	3
	広島北	4	100	100	77	81	0	4	0	4
	広島陵北	4	98.72	97.76	39	39	0	0	0	0
	大 竹	4	83.07	83.07	31	31	0	0	0	0
計			95.75	95.35	414	427	8	16	3	13

グループ	クラブ名	例会数	出席率(%)		会員数					
			当月	平均	年度初 (7/1)	当 月		本年度		
						末日	内女性	入会者	退会者	増減
グループ7	広島中央	4	99.53	99.77	58	56	4	0	2	-2
	広島廿田市	4	94.85	95.95	34	34	1	0	0	0
	広島城南	3	97.81	98.02	44	47	1	3	0	3
	広島南	2	98.2	98.15	86	88	0	3	1	2
	広島東南	4	100	100	89	90	8	2	1	1
	広島西南	4	100	100	63	62	3	0	1	-1
	広島西	4	100	100	80	83	0	3	0	3
計			98.63	98.84	454	460	17	11	5	6
グループ8	江田島	4	88.89	90.97	18	18	0	0	0	0
	東広島	4	96.88	96.88	32	32	2	0	0	0
	東広島21	4	92.11	94.3	19	19	4	0	0	0
	呉	3	93.52	93.7	70	69	0	2	3	-1
	呉 東	4	91.9	91.84	32	32	0	0	0	0
	呉 南	4	91.26	90.96	48	49	3	1	0	1
	西 条	3	98.67	99.34	51	50	2	0	1	-1
計			93.32	94	270	269	11	3	4	-1
グループ9	広島空港	4	82.29	82.81	24	24	2	0	0	0
	因 島	4	85.93	85.56	26	27	1	1	0	1
	三 原	4	88.46	90.38	64	65	2	1	0	1
	尾 道	3	86.97	87.62	70	70	1	0	0	0
	尾道東	4	88.83	87.49	56	55	1	0	1	-1
	瀬戸田	4	90.9	90.9	11	11	0	0	0	0
	竹 原	3	97.14	94.62	35	35	4	0	0	0
計			88.65	88.48	286	287	11	2	1	1
グループ10	府 中	3	86.27	90.68	36	36	0	1	1	0
	福 山	4	91.24	92.59	78	83	0	5	0	5
	福山東	4	90.9	90.97	51	53	0	3	1	2
	福山丸之内	4	93.06	94.68	36	36	1	0	0	0
	鞆の浦	5	90.63	86.72	32	32	0	0	0	0
	計			90.42	91.13	233	240	1	9	2
グループ11	福山赤坂	4	81.25	81.08	42	43	3	1	0	1
	福山北	3	97.83	97.83	46	46	0	0	0	0
	福山南	4	89.55	88.32	60	62	1	2	0	2
	福山西	4	87.8	88.67	42	43	2	1	0	1
	松 永	4	91.28	92.19	43	43	0	0	0	0
	計			89.54	89.62	233	237	6	4	0
グループ12	吉 舎	5	96.84	96.44	19	19	0	0	0	0
	三 次	3	80.08	83.27	40	42	0	2	0	2
	三次中央	4	93.5	94.41	49	50	8	1	0	1
	庄 原	4	95	92.19	38	40	4	2	0	2
	東 城	5	78.9	78.9	19	19	1	0	0	0
	計			88.86	89.04	165	170	13	5	0
2710地区計			90.97	91.3	3243	3319	116	100	24	76

新 会 員 紹 介

(順不同)



福田耕造
下関RC
2011年8月22日
通運業



斉藤彰彦
下関RC
2011年8月22日
海上火災保険



水野正幸
下関RC
2011年8月22日
中央銀行



中西信幸
油谷湾RC
2011年8月10日
金融業



小笠原靖
山口南RC
2011年8月5日
広告代理店



松崎貞子
山口南RC
2011年8月5日
電機設備



野村智幸
徳山RC
2011年8月4日
電気工事



吉村 猛
徳山RC
2011年8月4日
商業銀行



高橋祐司
徳山RC
2011年8月18日
証券業



平川慎一
徳山RC
2011年8月18日
合成ゴム製造



小田正幸
徳山セントラルRC
2011年7月4日
公認会計士



松本博明
徳山東RC
2011年8月31日
レジャー事業



黒田吉広
広島RC
2011年8月2日
電話事業



渡部孝道
広島RC
2011年8月2日
全国放送



柳田敏洋
広島RC
2011年8月2日
教育-音楽



加藤賢二
広島RC
2011年8月9日
生命保険-企業



岡本忠文
広島安佐RC
2011年9月1日
レストラン経営



道垣内文夫
広島安佐RC
2011年8月4日
ファクトリーメンテナンス業



河野智宏
広島安佐RC
2011年8月4日
土地家屋調査士



戸田拓夫
広島城南RC
2011年7月1日
港湾



玉田 史
広島城南RC
2011年8月26日
広告代理



矢野 淳
広島城南RC
2011年8月26日
不動産賃貸



藤元秀樹
広島東南RC
2011年8月22日
市街及び郊外電車



成宮正和
広島東南RC
2011年8月29日
呉服卸売



藤原健治
福山RC
2011年7月11日
鉄道運輸



二宮裕次
福山RC
2011年7月11日
調味料製造



斎藤克紀
福山RC
2011年8月8日
全国放送



齋藤仁和
福山RC
2011年8月8日
貯蓄銀行



倉下清貴
福山RC
2011年8月8日
外国為替銀行



桑田真由美
福山赤坂RC
2011年7月26日
桐箱製造販売



松本 知
福山南RC
2011年8月4日
プラスチック製品製造



青木貴央
三次RC
2011年7月14日
弁護士

謹んで哀悼の意を表します



広島RC 故河野徳男殿 2011年9月11日ご逝去 (享年86歳)

- ロータリー歴/1964-65年度 クラブ幹事
1986-87年度 クラブ会長
各理事、委員長歴任
ポール・ハリス・フェロー
- 職業分類/ゴルフ場経営

国際ロータリー第2710地区 2011-12年度 地区大会

10月14日(金) 記念ゴルフ大会

15日(土) 会長・幹事会議 / 16日(日) 本会議

ガバナー月信vol.3(9月号)P7「会員増減・出席率 2011年7月度」に以下の通り誤りがございましたので、訂正してお詫び申し上げます。

- 7月例会数 下関北RC (誤)0 ⇒(正)4 広島西RC (誤)0 ⇒(正)4 尾道RC (誤)0 ⇒(正)5
松永RC (誤)0 ⇒(正)3 庄原RC (誤)0 ⇒(正)4
- 7月出席率 庄原RC (誤)0.00% ⇒(正)89.37%